

令和4年度 事業報告書

第18期

自) 令和 4年4月 1日

至) 令和 5年3月31日

社会福祉法人 みよしの会

特別養護老人ホーム 桜荘

桜 荘 ショートステイ

桜荘デイサービスセンター

桜荘 居宅介護支援事業所

目 次

	ページ
1. 法人（本部）事業報告	
（1）理事会・評議員会事業報告	P 2
（2）職員構成	P 3
（3）事業運営	P 4
2. 特別養護老人ホーム事業報告	
（1）介護度別	P 10
（2）年齢構成	P 10
（3）在籍期間	P 10
（4）保険者別	P 11
（5）入退居状況	P 11
（6）入退院状況	P 12
（7）事業計画報告	P 12
3. ショートステイ事業報告	
（1）月別利用状況	P 15
（2）保険者別	P 15
（3）介護度別	P 16
（4）年齢構成	P 16
（5）事業計画報告	P 16
4. デイサービス事業報告	
（1）事業計画報告	P 16
5. 居宅介護支援事業報告	
（1）月別利用登録状況	P 17
（2）保険者別	P 17
（3）介護度別	P 17
（4）年齢構成	P 18
（5）事業計画報告	P 18

1. 法人（本部）事業報告

（1）理事会・評議員会事業報告

○理事会の開催

回数	開催年月日	参加人数	議案事項	結果
1	令和4年5月27日	7名	1. 監事選任に関する件	承認
2	令和4年6月15日	8名	1. 令和3年度事業報告に関する件 2. 令和3年度決算報告・幹事監査報告書に関する件	承認 承認
3	令和4年9月14日	8名	1. 就業規則の一部改訂に関する件	承認
4	令和4年10月31日	8名	1. 令和4年度事業執行状況に関する件 2. 令和4年度予算執行状況に関する件 3. 就業規則の一部改訂に関する件 4. 育児休業等に関する件	承認 承認 承認 承認
5	令和5年3月15日	8名	1. 令和5年度事業計画に関する件 2. 令和4年度補正予算に関する件 3. 令和5年度予算に関する件 4. 就業規則に関する件 5. 運営規定の一部追記に関する件 6. 定款細則の一部追記に関する件 7. オンコール体制の業者参入に関する件 8. 太陽光パネル工事に関する件 9. 大規模修繕に関する件 10. 処遇改善手当の職員配布方法に関する件	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認

○評議員会の開催

回数	開催年月日	参加人数	議案事項	結果
1	令和4年6月10日	9名	1. 監事選任に関する件	承認
2	令和4年6月29日	9名	1. 令和3年度決算報告・監事監査報告書に関する件	承認
3	令和4年9月28日	9名	1. 就業規則の一部改訂に関する件	承認

4	令和4年11月30日	9名	1. 令和4年度事業執行状況に関する件 2. 令和4年度予算執行状況に関する件 3. 就業規則の一部変更の改訂に関する件 4. 育児休業等に関する規則の一部改訂に関する件	承認 承認 承認 承認
5	令和5年3月29日	9名	1. 令和5年度事業計画に関する件 2. 令和4年度補正予算に関する件 3. 令和5年度予算に関する件 4. 就業規則に関する件 5. 運営規定の一部追記に関する件 6. 定款細則の一部追記に関する件 7. オンコール体制の業者参入に関する件 8. 太陽光パネル工事に関する件 9. 大規模修繕に関する件 10. 処遇改善手当の職員配布方法に関する件	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認

○監事監査の開催

回数	開催年月日	参加人数	議案事項	結果
1	令和4年6月13日	2名	令和3年度財務状況監査報告 令和3年度事業報告監査報告	承認 承認

(2) 職員構成

○正職員（令和5年3月31日現在）

職種	施設長	センター長	事務長	課長	相談員	介護支援専門員	介護員	看護師	管理栄養士	機能訓練士	合計
採用	0名	0名	0名	0名	0名	2名	10名	1名	0名	0名	13名
異動	0名	0名	0名	0名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	1名
退職	0名	0名	0名	0名	0名	1名	6名	2名	0名	0名	9名
現在	1名	0名	0名	1名	2名	2名	53名	2名	1名	2名	64名

○非常勤職員（令和5年3月31日現在）

職 種	介護員	夜間 介護員	看護師	宿 直	運転手	清掃員	合 計
採 用	2名	0名	0名	0名	0名	1名	3名
異 動	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
退 職	2名	0名	2名	0名	0名	0名	4名
現 在	16名	0名	3名	3名	2名	1名	25名

(3) 事業運営

①健康診断

○職員健康診断

回	年 月 日	参加人数	備 考
1	令和4年9月	45名	春季職員定期健康診断
2	令和4年11月	57名	インフルエンザ予防接種
3	令和5年3月	80名	冬季職員定期健康診断

○入居者

回	年 月 日	参加人数	備 考
1	令和4年 11月	82名	春季入居者定期健康診断
2	令和4年 11月	84名	インフルエンザ予防接種

②苦情・相談件数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
相 談	6	2	6	4	0	8	2	7	5	3	3	2	48
苦 情	0	0	0	2	1	1	0	1	0	2	2	5	14

○相談内容は、入居申し込みが主です。

③年間行事

月	行 事 名	備 考
4	お花見	※ ユニット毎に誕生会、近隣の混雑を避け外出を実施した。
5	菖蒲湯	
6	—	

7	七夕会	※外出・外食行事が出来なかった 為に、テイクアウトにて外食を 楽しんでいただく行事を実施 した。 ※バイキング形式で行う行事は 取りやめ、ユニット毎で行事を 実施した。
8		
9	敬老会	
10	紅葉狩り	
11		
12	クリスマス会	
1	正月 初詣	
2	節分	
3		

④会議の開催状況

会議名	回数	参加人数	参加職種	主な内容
運営会議	12	12名	施設長 総務課長 各課主任 各課相談員 栄養士 ケアマネ	施設運営管理・実施事業の確認 決定、検討
ケースカンファレンス	180	各回 職員7名 家族	施設長 ケアマネ 相談員 介護職 看護師 栄養士 機能訓 本人 家族	ケアプランの策定
給食会議	12	桜荘 7名 レオック 4名	施設長 相談員 栄養士 厨房 介護員 看護師	食・栄養に関する事項
リーダーミーティング	12	20名	相談員 CM 介護主任 UL 看護主任 栄養士	施設における暮らし・生活に関 する具体策の検討・案策定
ユニットミーティング	12	ユニット職員 5～9名	UL ユニット職員	ユニット内における暮らし・生 活に関する具体策の検討・案策 定

⑤委員会の開催状況

委員会名		回数	参加人数	参加職種	主な内容
地域交流委員会		12	4～9名	各課担当者	コロナ禍で安心して行える行事を計画
入居検討委員会		12	7名	施設長 介護主任 相談員 ケアマネ 第三者委員	入居申し込み状況の確認 入居候補者の順位の決定について
接遇委員会		12	3～8名	各担当者	法人の接遇に関する方針の決定機関
コロナウイルス感染対策委員会		12	10～12名	各担当者	コロナウイルス感染に関する方針の決定機関
感染症予防委員会		4	5名	各担当者	感染症についての検討・立案
褥瘡予防委員会		4	6～7名	各担当者	褥瘡についての検討・立案
拘束廃止委員会		12	7～12名	施設 相談員,CM, 介護課・看護課主任	法人の拘束廃止に関する方針の決定機関
事故防止委員会		12	6～10名	各担当者	事故分析 ・インシデント ・アクシデント
緊急事故防止委員会		5	6～10名	各担当者	再発防止へ向けた対応策の策定
衛生委員会		12	4名	産業医 施設長 看護主任 総務課長	職員の健康管理 職員の職場環境管理
社会貢献 SDGs 委員会		12	5名	各担当者	施設で行う社会貢献に関する方針の決定機関
パワハラ防止委員会		12	6名	各担当者	パワハラに関しての認識を深め防止について方針の決定機関
環境委員会		12	2～6名	各担当者	施設内・外の環境美化について環境美化の計画・企画・立案
ユニットケア推進委員会	食事分科会	12	7名	施設長 各主任 CM UL	経営理念である、個別ケアを実現する為、ユニットケア理念を全職員が共通理解できるような企画・立案・活動
	排泄分科会	12	7名		
	入浴分科会	12	7名		

⑥消防訓練

回数	訓練内容	年月日	参加人数	立会い・指導
1	総合訓練（日中を想定）	令和 4年10月25日	21名	東入間消防
2	総合訓練（夜間を想定）	令和 5年 3月20日	14名	東入間消防

⑦保守点検実施状況

項 目	事 業 者	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
建 物 (法定点検)													
昇降機点検	ジャパン EV	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
受水槽清掃点検	毎日興業						○						○
簡易専用水道検査	県建築住安協						○						
建築設備定期点検	〃						○						
害虫駆除	シーアイシー					○						○	
電気自家発点検	関東電気保安	○		○		○		○		○		○	
消防用設備点検	カナイ消防機材	○							○				
自主点検													
ガス設備点検	山ニガス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
グリストラップ	毎日興業						○						○
窓	(株)CSS	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
施設備品													
複合機	リコージャパン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
空調設備	毎日興業		○						○				
施設車両													
ハイエース 1号車	トヨタレント									○			
ハイエース 2号車	トヨタレント												○
ワゴンR 1号車	スズキ									○			
ワゴンR 2号車	スズキ									○			
ワゴンR 3号車	ダイハツ										○		

⑧研修

○施設内研修 (計387名参加)

研 修 名	年 月 日	主 催	参加人数
感染予防研修	令和4年6月1日~30日	特別養護老人ホーム桜荘	68名
事故防止研修 (事例検討)	令和4年9月25日~ 10月15日	特別養護老人ホーム桜荘	66名
褥瘡予防研修	令和4年11月 9日	特別養護老人ホーム桜荘	6名
拘束廃止研修	令和4年1月1日~31日	特別養護老人ホーム桜荘	68名
感染予防研修	令和4年10月1日~25日	特別養護老人ホーム桜荘	58名
高齢者虐待防止	令和5年1月1日~1月31日	特別養護老人ホーム桜荘	73名
事故防止 (入浴) 研修	令和5年3月1日~31日	特別養護老人ホーム桜荘	60名

○外部研修 (計270名参加)

研 修 名	年 月 日	主 催	参加人数
男性の育児休業取得促進セミナー研修	令和4年4月8日	埼玉県社会福祉協議会	4名

感染予防（食中毒）研修	令和4年6月1日	埼玉県社会福祉協議会	69名
感染予防（ノロウイルス感染を防ぐ）研修	令和4年10月1日～31日	埼玉県社会福祉協議会	51名
初任者の為の文書作成	令和4年11月1日～25日	埼玉県社会福祉協議会	61名
新任職員フォローアップ研修	令和4年11月27日	お茶の水ケアサービス学院	1名
高齢者の看取りケア研修	令和4年7月7日	埼玉県社会福祉協議会	1名
接遇	令和4年10月1日～12月	お茶の水ケアサービス学院	76名
認知症他職種協働研修	令和5年1月25日	埼玉県老施協	1名
介護業界の現状と介護ICTの必要性	令和5年3月16日	埼玉県老施協	2名
働き方改革	令和4年6月27日	埼玉県	1名
介護現場へのICT導入	令和4年6月14日	コニカミノルタ	2名
人材育成	令和4年6月14日	リゾエ	1名

⑨アクシデント報告件数・・・・・・・・・・193件

	転倒	転落	すり落ち	誤薬・ 落薬	離設	窒息	異食	忘れ物	その他	合計
4月	9	0	6	1	1	0	0	0	1	18
5月	4	3	2	1	1	0	0	0	7	18
6月	6	1	0	1	0	0	0	0	11	19
7月	5	2	2	0	1	0	0	0	3	13
8月	3	0	1	4	0	1	0	1	3	13
9月	6	3	3	2	0	1	0	0	4	19
10月	9	2	3	1	0	1	0	0	7	23
11月	4	3	0	0	0	0	0	1	7	15
12月	2	1	3	1	0	0	0	0	1	8
1月	5	1	3	1	2	0	0	0	5	17
2月	7	2	3	2	0	0	0	0	8	22
3月	1	0	0	1	0	0	0	0	6	8
合計	61	18	26	15	5	3	0	2	63	193

その他の事案

入居者間トラブル（手を出してしまった）・バルーンチューブ抜去・・・施設物品破損等・皮膚剥離・補聴器破損

⑩実習生受け入れ・体験・見学

○施設体験・見学

体験	年月日	学校名等	人数
「総合的な学習の時間」における福祉体験	コロナ禍の為中止	三芳中学校	0名

「総合的な学習の時間」における福祉体験	コロナ禍の為中止	三芳東中学校	0名
---------------------	----------	--------	----

○実習生受け入れ

実習名	年月日	学校名	人数
社会福祉士実習	コロナ禍の為中止	埼玉福祉専門学校	0名

⑪行政関係

○指導監査開催状況

種別	対象	年月日	内容
指導監査	運営・処遇・財務	令和5年2月27日	定期指導監査（実地）

○介護相談員 第2水曜日

コロナ禍の為中止

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑫ボランティア・クラブ活動

コロナ禍の為中止

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

◀主なVr▶陶芸教室,茶道教室,ハーモニカ,傾聴ボランティア,音楽療法,リズム体操,書道クラブ等

⑬事業所別月次稼働実績

種別	特養		ショート		デイ		居宅		備考
	90床	%	25床	%	20名	%	35名	8名	
4月	2,597	96	699	93	0	0	31	1	30日
5月	2,695	97	694	90	0	0	32	1	31日
6月	2,567	95	640	85	0	0	34	1	30日
7月	2,686	96	681	88	0	0	30	1	31日
8月	2,588	93	629	81	0	0	31	1	31日
9月	2,606	97	507	68	0	0	30	1	30日
10月	2,732	98	666	86	0	0	35	0	31日
11月	2,628	97	668	89	0	0	37	0	30日
12月	2,761	99	676	87	0	0	36	0	31日
1月	2,735	98	593	77	0	0	36	0	31日
2月	2,464	98	625	89	0	0	34	0	28日
3月	2,723	98	718	93	0	0	32	0	31日
合計	31,782	96.8	7,796	85.5	0	0	396	4	365日
稼働目標		98		98		80			

① 上記数値の標記は少数点第1位を四捨五入とする。

(令和5年3月31日現在)

2. 特別養護老人ホーム事業報告

(1) 介護度別 平均介護度 3・98

介護度	男性	女性	計
要介護1	0	0	0
要介護2	0	1	1
要介護3	5	14	19
要介護4	13	40	53
要介護5	8	10	18
計	27名	63名	90名

(令和5年3月31日現在)

(2) 年齢構成

区分/性別	男性	女性	計	備考
65歳未満	0	2	2	最高年齢 男性 95歳 女性 101歳
65歳 ~ 69歳	1	1	2	
70歳 ~ 74歳	0	1	1	
75歳 ~ 79歳	1	8	9	
80歳 ~ 84歳	6	9	15	最低年齢 男性 69歳 女性 58歳
85歳 ~ 89歳	6	21	27	
90歳 ~ 94歳	6	15	21	
95歳 ~ 99歳	1	11	12	
100歳以上	0	1	1	平均年齢
計	21名	69名	90名	87.2歳

(令和5年3月31日現在)

(3) 在籍期間

区分/性別	男性	女性	計
3ヶ月未満	2	3	5
3ヶ月 ~ 6ヶ月未満	2	3	5
6ヶ月 ~ 1年未満	4	15	19
1年 ~ 2年未満	7	14	21
2年 ~ 3年未満	6	6	12
3年 ~ 4年未満	3	7	10
4年以上	2	16	18
計	26名	64名	90名

(令和5年3月31日現在)

(4) 保険者別入居者数

保険者名	入居者数		計
	男性	女性	
三芳町	9	17	26
ふじみ野市	3	11	14
富士見市	2	3	5

所沢市	4	7	11
川越市	0	2	2
新座市	4	4	8
志木市	0	2	2
越谷市	0	1	1
真庭市	1	0	1
狭山市	0	1	1
練馬区	1	5	6
清瀬市	1	1	2
三鷹市	0	1	1
板橋区	0	4	4
朝霞市	0	1	1
相模原市	0	1	1
東久留米市	0	1	1
八王子市	1	1	2
江東区	0	1	1
計	26名	64名	90名

(令和5年3月31日現在)

(5) 入退居状況

月/区分	入居	退居				計
		死亡	長期入院	在宅復帰	他施設	
4月	5	3	2	0	0	5
5月	3	3	1	0	0	4
6月	5	0	4	0	0	4
7月	0	0	2	0	0	2
8月	2	3	1	0	0	4
9月	5	1	0	0	0	1
10月	3	1	1	1	0	3
11月	1	1	1	0	0	2
12月	4	0	3	0	0	3
1月	3	2	2	0	0	4
2月	1	0	0	0	0	0
3月	2	0	3	0	0	3
計	34名	14名	20名	1名	0名	35名

(令和5年3月31日現在)

(6) 入退院状況

月/区分	入院	退院
4月	9	6
5月	9	3
6月	4	3

7月	3	2
8月	4	2
9月	7	4
10月	5	4
11月	5	3
12月	3	1
1月	4	2
2月	4	3
3月	5	3
計	44名	27名

(令和5年3月31日現在)

(7) 事業計画報告

1. 人財教育の継続・質の向上(考える職員を育てます)を追求します。

1) ■クレドの理解や実践の向上

桜荘の求める人財像であるクレドがわかって行動できるようになります。

(報告)

⇒クレドを理解し意識して行動してもらえるように促すことは、来年度も必要だと考えるため変更せずに継続する。

リーダーMにて翌月に取り組む項目を伝えることで、まずはリーダーが考え、ユニットMにてユニット職員に意識して取り組んでもらう事が出来た。翌月ユニットMで発表し、会議録に添付することで職員の意識付けとなった。

2) ■チューター制度の見直し、質の向上

チューターが中心となり フロア職員一丸となって指導していきます。そして教える側も教わる側も 一緒に学び成長します。

(報告)

⇒チューター制度を定期的に見直し改訂する為には、実際にチューター制度実践した職員(教える側・教わる側)の意見を専用用紙に集め分科会に提出することでチューター制度の見直し改訂を行う事ができた。チューター制度をしっかりと把握・実践できるよう分科会が中心に働きかけ効果的に行われているか確認・指導を行う事は来年度も必要だと考えるため変更せずに継続する。

3) ■フィードバック面談の質向上を目指します ※(教える側も教わる側も学びます)

全職員が前向きにFB面談をとらえ、自己の課題に向き合い 成長に繋がります。

(報告)

⇒職員各自に意識を促すために、どの様に取り組むか考える事・振り返る事は必要な事であり、その考え方が浸透してきているので方法は継続する。

FB面談実践内容の流れ・前回の振り返りを分科会より説明を行い、自分の課題や目標への進捗状況を行う事で自身の目標が定められステップアップが行えた。

2. ケアの質の向上を追求します！！

1) ■変化する暮らしの中で「生きることを想いやる気持ち」を大切にします！！

毎月の分科会を中心に個々の生活基本スタイル（食事・入浴・排泄等）や24Hシート、ケアプランを見直し、個別支援の質を向上させます。

(報告)

⇒自立支援の生活支援マニュアルを見直し、ADLの変化に応じ適宜修正をおこないケアプランの修正を行った。

⇒24Hシートの更新はできていた、ケアプランの意味・目的が理解できる書面研修と行い職員のケアの向上が行えたことで入居者の個別支援の質の向上を目指す。

⇒他部署と連携し、本人・ご家族との関係強化を作る為、タブレットを活用し情報を共有、line等を使用しコミュニケーションを図る事ができた。

2) ■安心・安全なサービスを追求していきます。

①生活記録をはじめとする記録類の充実を図ります。

(報告)

⇒記録分科会で作成したマニュアルをユニットMにて研修を行った。

⇒毎月チェックする記録より、良い記録例を選出し、どの点が良かったかを添えて配布する事で記録記入の参考になった。記録ソフトの活用で記入者が限定され、提出率が下がっている。面会制限が続いておりご家族に安心して頂く為に、入居者の写真を送付する、面会制限解除になるまで継続する。

②アクシデントへの取り組みを強化し、アクシデント件数を減らします。

(報告)

⇒毎月決められたテーマに沿ってユニットMで話し合い一人一人への注意喚起を図った。

⇒事故防止委員会は件数の多いひやりはっと対策が必要と思われるケースには予防対策を立てる様にULに促し、ULを中心にひやりはっと報告を活用し、効果的な予防対策が早期にたてられるように支援します。

予防対策作成を促す事が重要であると考え、引き続き取り組んでいく必要がある為継続とします。

⇒リーダーMで重大アクシデントの内容・対策を報告し情報を共有します。

それをユニットMの際に、自ユニットでも類似アクシデントの恐れが無いかを検討し、その検討内容を会議録に載せることで情報を共有し未然に防ぎます。

類似アクシデントを検討することで注意喚起となりアクシデントを未然に防ぐことにつながると考える。考える機会を設けるという意味で効果があった為継続とします。

⇒事故防止委員会を中心に、施設全体のアクシデント・ひやり・はっとの集計・分析を行い事故対策を促進します。対策が必要なひやりはっとは、委員会議事録に残し次月の委員会の際にユニットで立てた対策を報告します。報告することでひやりはっとに対する注意喚起をしていく。

ひやりはっとを重要視することが、アクシデントを未然に防ぐことにつながる為、継続して取り組んでいく。

3) 高齢者施設の専門職（看護・栄養・機能）として生活モデルの視点を養います。

（報告）

介護職と共に24Hシートを作成し、カンファレンス等に参加することで入所者・利用者・家族の想いを知ることができケアにつながられた。

②看護師としてその方の疾患を把握し、必要に応じて疾患についての勉強会をひらきます。

（報告）

・体調不良を早期発見し、重度入居者の受け入れを行っていった。

4) 食の楽しみを追求していきます。

（報告）

個別栄養マネジメントを提案しながら、食の楽しみを迫及した。

また、季節感と楽しみでの満足感を得られるように、行事食を行った。

5) ■身体的負担を軽減し、疾患の緩和及び精神面（入居者・利用者・家族の意向を尊重）の安定を図ります。

（報告）

入居者のADL評価を行い、個別機能訓練計画を作成しADLの低下を防止・向上を目指し個別訓練・集団体操を織り交ぜおこなった。

3. 自己研磨しよう

1) ■チャレンジする職員を応援します。

①職員が自主的に学べる外部研修情報を提供します。

（報告）

外部オンライン研修が行えるように研修情報を提供した。又フィードバック・研修で学ぶ機会を提供しました。

②介護福祉士・介護支援専門員の資格取得をチャレンジします

（報告）

資格取得を目指し職員を応援し、フォローを行った。

4. 地域に愛される施設づくりに努めます

1) ■桜荘内外に関わらず、地域活動（ボランティア活動）を積極的にお受けし、行っていきます。

2) ■桜荘が選ばれる施設になるように外に情報を発信していきます。

①施設内・外に情報を発信して交流が出来る様にしていきます。

（報告）

⇒未だ続いているコロナ禍である現状でも出来る事・ユニット職員でも出来る事などを考え、ご家族にも気軽に施設の日々の様子を見て頂けるようにタブレットに写真を残し、SNS にアップすることで桜荘の様子を外に発信していった。
⇒社会貢献 SDG s 委員会を立ち上げ身近な取り組みを行った。

5. 経営基盤の強化

①国の方針でもある特養の重度入居者受け入れ推進に貢献していきます。

(報告)

- 特養の役割である重度入居者の受け入れを積極的に行ってまいりました。
- 無駄な経費は削減し必要な所に力をいれ収支をより一層確認してまいりました。
- 人材教育に力を入れるシステムの構築を図りました。

3. ショートステイ事業報告

(1) 月別利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	目標
定員	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	300	
%	93	90	85	88	81	68	86	89	87	77	89	93	85.5	96

(令和5年3月31日現在)

(2) 保険者別

保険者名	利用者数		計
	男性	女性	
三芳町	0	2	2
ふじみ野市	1	3	4
富士見市	0	2	2
川越市	0	1	1
新座市	1	5	6
朝霞市	1	0	1
新宿区	0	1	1
清瀬市	3	1	4
江東区	0	1	1
狭山市	1	0	1
東久留米市	0	1	1
計	7名	17名	24名

(令和5年3月31日現在)

(3) 介護度別 平均介護度 3.4

月/区分	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
4月	0	0	3	8	10	17	7	45
5月	0	0	3	5	11	14	9	42
6月	0	0	5	5	10	13	7	40
7月	0	0	3	4	13	13	4	37
8月	0	0	2	4	12	9	4	31
9月	0	0	2	5	12	15	4	38
10月	0	0	3	6	18	13	6	46
11月	0	0	2	3	17	12	7	41
12月	0	0	1	5	14	15	6	41
1月	0	0	2	5	14	10	6	37
2月	0	0	2	6	15	9	7	39
3月	0	0	3	5	13	11	7	39
計	0	0	31	61	159	151	74	476

(令和5年3月31日現在)

(4) 年齢構成

区分/性別	男性	女性	計	備考
65歳未満	0	0	0	最高年齢 男性 91歳 女性 98歳
65歳 ~ 69歳	0	0	0	
70歳 ~ 74歳	0	0	0	
75歳 ~ 79歳	1	2	3	
80歳 ~ 84歳	2	5	7	最低年齢 男性 75歳 女性 77歳
85歳 ~ 89歳	3	4	7	
90歳 ~ 94歳	1	3	4	
95歳 ~ 99歳	0	2	2	
100歳以上	0	0	0	平均年齢 85.6歳
計	7名	16名	23名	

(令和5年3月31日現在)

(5) 事業計画報告

※特養部門の報告と同様

4. デイサービス事業報告

コロナウィルス感染症の発生に伴い、デイサービスは休止とさせて頂きました。

5. 居宅介護支援事業所事業報告

(1) 月別利用登録状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
介護	34	35	36	34	33	35	35	37	36	36	34	32	417
予防	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4

(令和5年3月31日現在)

2) 保険者別

保険者名	利用者数		計
	男性	女性	
三芳町	12	31	33
ふじみ野市	3	0	3
富士見市	1	1	2
朝霞市	2	0	2
川越市	0	1	1
新座市	0	1	1
中野区	0	1	1
江東区	0	1	1
台東区	0	1	1
所沢市	0	1	2
新宿区	0	1	1
計	18名	39名	57名

(令和5年3月31日現在)

(3) 介護度別

月/区分	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
4月	1	0	13	10	2	6	3	35
5月	1	0	13	11	2	6	3	36
6月	1	0	13	11	2	7	3	37
7月	1	0	11	11	2	8	2	35
8月	0	0	11	11	2	7	2	33
9月	0	0	12	10	2	7	4	35
10月	0	0	11	10	4	7	3	35
11月	0	0	11	8	8	6	4	37
12月	0	0	11	7	7	7	4	36
1月	0	0	11	7	5	8	5	36
2月	0	0	10	7	3	9	5	34
3月	0	0	10	6	3	9	4	32
計	4	0	137	109	42	87	42	421

(令和5年3月31日現在)

(4) 年齢構成

区分/性別	男性	女性	計	備考
65歳未満	1	1	2	最高年齢 男性 88歳 女性 97歳
65歳～69歳	0	0	0	
70歳～74歳	2	5	7	
75歳～79歳	5	6	11	
80歳～84歳	5	12	17	最低年齢 男性 59歳 女性 64歳
85歳～89歳	5	7	12	
90歳～94歳	0	5	5	
95歳～99歳	0	3	3	
100歳以上	0	0	0	平均年齢 85.6歳
計	18名	39名	57名	

(令和5年3月31日現在)

(5) 事業計画報告

(利用者の生きる力を最大限に引き出す支援)

動画配信やズームにて、厚生労働省・埼玉県・三芳町・埼玉県介護支援専門協会・民間研修機関」などが主催する研修に参加しました。

三芳町地域ケア会議及び三芳町役場による個別のケアプラン点検を受けました。それにより専門的知識や技術を高め、ケアマネジメントの質を向上することができています。引き続き、意思決定支援ガイドラインに基づき、利用者の意向、意欲を引き出すケアプランを作成していきたい。

■ (人材教育)

コロナ禍のため、R4年度も三芳町ケアマネジャー交流会、三芳町管理者・主任ケアマネの会の活動は休止となりましたが、三芳町地域ケア会議にて主任ケアマネの会の主任ケアマネジャーがアドバイスとして交代で参加することを始めました。埼玉県介護支援専門員法定研修の演習指導者のOJTを受け、主任介護支援専門員研修及び主任介護支援専門員更新研修のファシリテーターとして活動しました。

■ (経営基盤の強化)

稼働率(一定の情報通信機器の活動を条件として最大44件) 80%

(適正35件) 100%

コロナウイルスの影響による訪問系・通所系サービスの利用控え、福祉用具サービスのみ利用の利用者が介護保険更新時に要支援認定になるケースなどが続きました。R6年度の法改正に向けて、介護予防支援について居宅も指定対象になるという審議が始まっている事を念頭に置いて対応していきます。

引き続き、MCSやズームでの担当者会議など、ICTを積極的に活用し、ペーパーレス禍による経費削減及び業務の効率化を図っていきます。

■ (地域との協働と社会貢献)

三芳町認知症施策推進連絡会議をはじめ、ケアラー支援、医療介護連携など、各種連絡会・会議に参加しました。

引き続き、三芳町災害時要援護者避難支援プラン・個別計画の作成、BCPマニュアルや安否確認優先順位リストの更新を進めていきます。